

研究発表会開催通知

(昭和 61 年 9 月 15 日～10 月 31 日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
記 号 処 理	9 月 16 日 (火)	13 : 30～17 : 00	津 田 塾 大	前号参照
情 報 シ ス テ ム	9 月 16 日 (火)	13 : 30～17 : 00	機械振興会館	同 上
日 本 語 文 書 処 理	9 月 17 日 (水)	13 : 30～17 : 00	日 本 I B M	同 上
知 識 工 学 と 人 工 知 能	9 月 18 日 (木)	9 : 30～17 : 00	機械振興会館	同 上
コ ン ピ ュ ー タ ビ ジ ョ ン	9 月 18 日 (木)	13 : 00～17 : 00	東 大・生 研	同 上
自 然 言 語 処 理	9 月 19 日 (金)	13 : 30～17 : 00	K D D 研	同 上
デ ー タ ベ ー ス・シ ス テ ム	9 月 19 日 (金)	13 : 30～17 : 00	オ ー ム ビ ル	同 上
ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	9 月 24 日 (水)	10 : 00～16 : 30	阪 大	同 上
情 報 学 基 礎	9 月 26 日 (金)	13 : 30～17 : 00	機械振興会館	同 上
マ イ ク ロ コ ン ピ ュ ー タ	9 月 27 日 (土)	13 : 30～17 : 00	東 京 電 機 大	同 上
マ ル チ メ デ ィ ア 通 信 と 分 散 処 理	9 月 29 日 (月)	13 : 00～17 : 00	機械振興会館	同 上
ソ フ ト ウ ェ ア 基 礎 論	9 月 30 日 (火)	14 : 00～16 : 40	広 島 大	同 上
グ ラ フ ィ ク ス と C A D	10 月 4 日 (土)	9 : 30～16 : 10	同 上	下記参照
数 値 解 析	10 月 4 日 (土)	13 : 00～17 : 00	京 大	同 上
プ ロ グ ラ ミ ン グ 言 語	10 月 17 日 (金)	11 : 00～17 : 00	名 大	同 上
設 計 自 動 化	10 月 21 日 (火)	9 : 30～16 : 40	京 大	同 上

◆ 第 23 回 グラフィクスと CAD 研究会

(発表件数：8 件)

(主査：川合 慧，幹事：出澤正徳，内田光太郎，守屋慎次)

日 時 昭和 61 年 10 月 4 日 (土) 午前 9 時半～午後 4 時 10 分

会 場 広島大学工学部 A 1 棟 141 号室

〔東広島市西条町下見，(山陽本線) 西条駅下車，大学会館行バス乗車広大東口下車 (20 約分)，Tel. 0824(22)7111 内線 3445〕

議 題 9: 30～12: 10 (4 件)

(1) エリアシングの除去を考慮した 3 次元画像の合成法

西田友是 (福山大・工)，石崎貴夫，中前栄八郎 (広島大・工)

〔概要〕 エリアシングの除去を考慮した，3 次元画像データからの画像合成，拡大縮小，色変更の方法について提案する。

(2) コンピュータグラフィックスプリンティングシステム

東 吉彦 (大日本印刷)

〔概要〕 コンピュータグラフィックスの画像データを直接処理し，高品質の印刷

用原板を作成するシステムを紹介する。

(3) 1次元1近傍のセルオートマトンによる平面模様の生成

坂元宗和, 高木幹雄 (東大・生研)

〔概要〕 このオートマトンでは初期値と模様が1対1に対応し応用に便利である。模様を試作して実用性を確認した。

(4) 高速文字図形生成システム

宮部義幸, 青柳早苗, 吉田 純, 石川幹人, 中瀬義盛
鷺島敬之 (松下電器)

〔概要〕 画像生成用高速コンピュータ MC と, 専用ハードウェアを用い, 高品質文字と図形を生成するシステム。

13: 30~16: 10 (4件)

(5) 等高線地図からの地形変化の解析

程 康, 出澤正徳, 相馬 嵩 (理研)

〔概要〕 年数を隔てた複数の等高線地図より入力された等高線型モデルからの地形変化の解析法について述べる。(英文)

(6) 4次元空間におけるモデルの構築と表示

宮副幸子, 鶴野玲治, 長江貞彦, 福永節夫 (大阪府大・総合)

〔概要〕 4次元空間を設定し, そこに3次元ないし4次元の物体を基本モデルとして, アニメーション表示する。

(7) ソリッドモデラ (Kermel-Solid) における立体集合演算の一手法

長田義弘, 小堀研一, 西岡郁夫 (シャープ)

〔概要〕 B-reps による多面体モデルの立体集合演算を高速に行う手法について報告する。

(8) 3次元グラフィック端末を用いた建築景観シミュレーションについて

高橋 充, 町田史彦, 小林徳也 (ダイキン工業)

〔概要〕 3次元グラフィック端末のローカルシェーディング機能, ローカル像変換機能を用いてリアルタイムの建築景観のシミュレーションを可能にした。

懇 親 会:

日 時 昭和61年10月4日(土) 16:30~18:00

場 所 広島大学工学部 東福利会館

会 費 ¥ 1,000 (当日, 受付にて申し受けます)

◆ 第18回 数値解析研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 森 正武, 幹事: 唐木幸比古, 野寺 隆, 福井義成)

日 時 昭和61年10月4日(土) 午後1時~5時

会 場 京都大学 数理解析研究所 2階 202号室

〔京都市左京区北白川追分町, 国鉄: 京都駅(烏丸口)下車, 市バス: 特17号北白川下車, 206号百万遍下車, 地下鉄: 今出川下車, 市バス: 203号乗継北白川下車, Tel. 075 (751) 2111〕

議 題 (1) 数学ライブラリ NUMPAC のベクトル版

秦野甯世 (中京大・教養), 二宮市三 (中部大・経営情報)

〔概要〕 数値計算用プログラムライブラリ NUMPAC の線型計算の部分について、ベクトル計算機用に改良し、高速度版を開発した。最近のスーパーコンピュータ、VP 200, S 810, SX-1/2 の上でのスピードについて報告する。

(2) 熱流体解析への PCG 法及び PCR 法の適用 藤野清次 (三洋電機)

〔概要〕 熱流体解析で現われる連立 1 次方程式に対して PCG 法及び PCR 法を適用した時の収束特性について報告する。

(3) 境界要素 Galerkin 法について 榊原道夫 (岡山理大)

〔概要〕 楕円型方程式の Dirichlet 問題の近解似法として標題の方法を提唱し、収束性などについて議論する。

(4) マルチグリッド差分法について 磯 裕介 (京大・数理研)

〔概要〕 マルチグリッド・スキームについて最近の結果を紹介し、楕円型方程式の境界値問題への応用を考える。

◆ 第 8 回 プログラミング言語研究会

(発表件数: 6 件)

(主査: 島内剛一, 幹事: 石畑 清, 斉藤信男, 安村通晃)

日 時 昭和 61 年 10 月 17 日 (金) 午前 11 時～午後 5 時

会 場 名古屋大学大型計算機センター 演習室

〔名古屋市千種区不老町, 国鉄: 名古屋駅下車, 地下鉄: 東山線藤ヶ丘行にて本山駅下車南へ徒歩 10 分, Tel. 052 (781) 5111〕

議 題 (1) コンパイラの代数的仕様記述とその自動生成

酒井正彦, 坂部俊樹, 稲垣康善 (名大・工)

〔概要〕 コンパイラを構文領域間の関数とみなして代数的に記述する方法とそれに基づくコンパイラ自動生成について述べる。

(2) 会話型言語の代数的仕様記述とプロトタイピング

久保幸弘, 坂部俊樹, 稲垣康善 (名大・工)

〔概要〕 エディタ, 表集計言語などの会話型の言語 (ソフト) を代数的に仕様記述し, プロトタイピングに応用する。

(3) 汎用計算機上に実現された LISP プログラム開発支援システム

太田義勝, 吉田雄二, 福村晃夫 (名大・大型計算機センター)

〔概要〕 LISP プログラム開発支援システムについて報告する。このシステムは静的／動的のプログラム解析系, 知的エディタなどから構成される。

(4) PX: A system extracting programs from proofs

林 晋 (京大・数理研)

〔概要〕 証明からプログラムを合成するシステム PX において, 十分広いクラスのアルゴリズムを抽出する方法を述べる。

(5) プロダクション・システム記述言語 POPS 2 広瀬紳一 (日本 IBM)

〔概要〕 OPS 5 のパターン・マッチング機能を拡張し, 条件の選言, 否定等の記述を可能にしたシステムについて述べる。

(6) Delta Language について

山本喜一 (慶大・情報科学)

〔概要〕 Simula を発展させたオブジェクト指向言語である Delta とその一族についての概観を述べる。

◆ 第 34 回 設計自動化研究会

(発表件数：9 件)

(主査：樹下行三，幹事：安藤 宏，池本康博，吉田憲司)

日 時 昭和 61 年 10 月 21 日 (火) 午前 9 時半～午後 4 時 40 分

会 場 京都大学工学部 情報工学教室

〔京都市左京区吉田本町，国鉄：京都駅下車，市バス：17 番（錦林車庫）百万遍下車，地下鉄：北大路行にて今出川下車，市バス：烏丸今出川バス停より 203・201 番にて百万遍下車，Tel. 075 (751) 2111〕

議 題 9：30～12：10 (4 件)

(1) Tokio に基づく論理回路の検証

中村 宏，河野真治，藤田昌宏，田中英彦（東大・工）

〔概要〕 論理式を積和形で表すことによって処理速度を向上させた，時相論理に基づく論理回路検証系について述べる．

(2) 組合せ回路合成システム：MACDAS

笹尾 勤（阪大・工）

〔概要〕 2 変数関数発生器を使用した多段論理回路の合成法を述べ，その手法を種々の回路に適用した結果を述べる．

(3) 演算回路自動合成方式の検討

横田孝義（日立）

〔概要〕 ALU 等の演算回路を自動設計するための支援系を設計モデルと多段論理合成手法により実現する手法を提案する．

(4) ベクトル計算機向きの論理関数の素項の生成法

加賀谷達次，高木直史，矢島脩三（京大・工）

〔概要〕 和積形あるいは積和形の木状の展開に基づくベクトル計算機向きの論理関数の素項の生成法について述べる．

13：10～16：40 (5 件)

(5) マイクロコンピュータの編集設計可能な設計システムの試作

平野収三，為貞建臣（徳島大・工），橋爪正樹（徳島大・工業短大）

〔概要〕 計算機内に格納した過去に作られた機能別回路に編集操作を加え，仕様を満たす回路を設計する CAD システム．

(6) 大型高密度基板用ラウタシステム

花房昭彦（富士通）

〔概要〕 富士通の M780 用の大型で高密度な基板を設計するために開発したラウタシステムを紹介する．

(7) トランジスタ敷き詰め式ゲートアレイのレイアウトシステム

野田知義，藤野康弘，寺井正幸，味岡佳英，佐藤興二（三菱電機）

〔概要〕 トランジスタ敷き詰め式ゲートアレイのレイアウトシステムの概要と適用結果について述べる．

(8) 高速アニーリング・シミュレーション法 FAST

豊永昌彦，秋濃俊郎（松下電子）

〔概要〕 最適化手法シミュレーテッド・アニーリングの高速化で配置問題を 10 倍以上早く解く手法を開発した．手法と実験結果を報告する．

(9) ストレッチ・シンボル対応型レイアウトコンパクション

山内貴行，谷 貞宏，神戸尚志，西岡郁夫（シャープ）

〔概要〕 設計の容易性を重視し、素子の形状変更の自由なストレッチ・シンボルを扱えるレイアウトコンパクションを開発した。

◆ 知識工学と人工知能研究会

本研究会では、下記により、パネル討論会を開催いたします。なお当日は一般研究発表も行います。

日 時 昭和 61 年 11 月 11 日 (火) 午後 (正確な時間は後日決定します)

場 所 機械振興会館 地下 3 階 研修 1 号室

テ ー マ 人工知能研究に期待するもの——日本の人工知能研究の将来像——

司 会：堂下修司 (京大・工)

パネリスト：米澤明憲 (東工大・理), 寺野隆雄 (電力中研), 横井俊夫 (ICOT)

雨宮真人 (NTT・基礎研), 渡辺 正信 (日本電気・研究所)

松田元男 (鹿島建設)

協 賛 人工知能学会

◆ ソフトウェア工学研究会

第 52 回研究会 (61 年度最終回) を下記のとおり開催いたします。ソフトウェア工学全般にわたり理論及び実際面からの発表を歓迎いたします。発表ご希望の方は、11 月 21 日 (金) までに、発表題目と 50 字以内の概要を研究会発表申込書 (本誌 7 月号綴込) にご記入のうえ、学会事務局研究会係までお申込みください。

日 時 昭和 62 年 2 月 13 日 (金), 14 日 (土)

会 場 山形大学 工学部 情報工学科 (米沢市)

◆ 計算機アーキテクチャ研究会

第 55 回 研究会を来る 11 月 20 日 (木)・21 日 (金) の両日、東北大学にて開催いたします。今回は、電子情報通信学会 (回路とシステム研究会・コンピュータシステム研究会) との共催で開催されます。

昭和 62 年度研究会等の新設提案について

昭和 62 年度に研究会・調査委員会の新設を希望する会員は、10 月 18 日までに所定の書式により、研究会 (調査委員会) 新設提案書を調査研究運営委員長に提出してください。書式その他詳細は学会事務局研究会係までお問合せください。

情報処理学会第 33 回 全国大会(昭和 61 年後期)参加について

- 開催期日** 昭和 61 年 10 月 1 日(水)～3 日(金)
- 会場** 広島工業大学(広島市佐伯区五日市町)
- プログラム** 詳細は本号黄色のページに掲載してあります。交通、会場等はプログラム末尾の会場案内図を参照してください。

一般参加の方へ

1. **総受付** 広島工業大学新 1 号館ロビー
2. **参加費** 会 員 1,000 円(賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます.)
非会員 2,000 円(ただし電気、電子通信、照明、テレビジョンの各学会会員は会員扱いとします。会員番号を申し出てください。)
3. **論文集 定価** 6,000 円(予約は締切りました)
(当日、予約者以外にお頒けできるのは、残部のある場合に限りです。)

◎ 参加される方は、**総受付**にて参加費を納め、参加章を受けとってください。参加章のない方は会場に入れません。

一般講演を行う方へ

1. 講演者は、講演の始まる前に、必ず各セッション会場前の講演者受付で、出席の確認を受けてください。
2. 講演者は、おそくとも前の講演者の講演時間中には、座長席の前に設けられた「講演者控」で待機するようにしてください。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて、15 分を原則とします(都合により 13 分のセッションもあります)。講演中でも時間がくれば打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の 5 分前および 3 分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代読は認めません。

~~~~~  
**学術奨励賞の表彰** 懇親会の席上で行います。

**懇親会** 第 1 日目(10 月 1 日)、17 時 30 分より、広島工大・大学会館(3 階ホール)にて催されます。会費 3,000 円。  
参加希望者は全国大会会場総受付にて当日受け付けます。

**見学会** 第 2 日目(10 月 2 日)、14 時より、マツダ(株)本社工場(予定)。

(その他の一般注意)

1. 食堂: 学生食堂、休憩室等はプログラムの会場案内図参照のこと。
2. 電話の呼び出しはいたしません(万一止むを得ない場合のみ、伝言板に掲示)。
3. 駐車場がないので、自家用車による参加はできません。

## 学術奨励賞の受賞候補者の推薦について

全国大会で優秀な論文を発表した会員の中から、大学学部卒業後 10 年未満（またはこれと同等）の若手の科学者・技術者約 10 名を選び、学術奨励賞を贈呈し表彰いたします。

つきましては、来る 10 月 1 日～3 日に広島工業大学で開催される第 33 回全国大会の登壇発表者の中から、下記により受賞候補者 1 名をご推薦くださいますようお願いいたします。

また、第 33 回全国大会参加者には会場で推薦用紙を用意しておりますので、会場でご推薦くださるようお願いいたします。

なお、受賞者の選定は学術奨励賞委員会（委員長 浦副会長）で行い、その発表と表彰は来年 3 月に開催の第 34 回全国大会（日本大学）時に行われる予定です。

### 記

#### 選定範囲および推薦数

第 33 回全国大会で発表された論文のうち、優秀な論文の登壇発表者 1 名、

**推薦資格** 本学会正会員に限る。

**推薦方法** 官製はがきに、推薦する論文の ①講演番号、②題目、③登壇発表者名、④所属、⑤出身校（学部）卒年、⑥推薦理由および推薦者の氏名、所属、住所をもれなくご記入のうえ、本会学術奨励賞係あてお送りください。

**推薦締切** 昭和 61 年 10 月 15 日（当日消印有効）

### 表 彰 規 程（抜 粋）

#### 第 4 章 学 術 奨 励 賞

第 15 条 学術奨励賞は、情報処理に関する学問、技術の奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者に贈呈する。

第 16 条 学術奨励賞を受ける者は、全国大会において優秀な論文を発表した者で、つぎの各号に該当する者から選定する。

- イ 選定の時期において本会会員であること（選定の時期とは、第 1 回の委員会開催時とする）。
- ロ 講演の時期において大学の学部卒業後 10 年未満の者またはこれと同等と認められる者であること。
- ハ 大会参加申込の際講演者として登録かつ講演を行った者であること。
- ニ 本奨励賞を受けたことのないものであること。

第 17 条 第 16 条の選定は、全国大会終了後速やかに行う。

第 18 条 学術奨励賞は、毎回約 10 名ずつ選定し、贈呈する。

第 19 条 学術奨励賞は、賞状、賞牌および賞金とする。

- 2. 賞金は、1 名につき 20,000 円とする。

## 情報処理学会第 34 回 全国大会論文募集要領

**開催期日** 昭和 62 年 3 月 18 日(水) ～20 日(金)

**会 場** 日本大学・理工学部・習志野校舎 (千葉県船橋市習志野台)

**応募資格** 本学会個人会員 (正会員, 学生会員) に限ります。共同発表の場合には, 登壇発表者は会員でなければなりません。なお, 61 年度会費未納の会員は, 登壇発表ができません。また, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には申込みを受け付けません。入会申込書は本号巻末に添付してあります。(電気, 電子通信, 照明, テレビジョン学会会員は全国大会の参加・発表は会員扱いとします。)

### 論文該当分野

1. 基礎理論および数値処理
  - a. 計算理論, b. アルゴリズム, c. ソフトウェア基礎, d. 数値計算, e. 数式処理
  - f. その他
2. アーキテクチャおよびハードウェア
3. オペレーティングシステム
4. データベースシステム
5. ネットワークおよび分散処理
6. プログラミング言語とその処理系
  - a. 手続き型言語, b. 関数型言語, c. オブジェクト指向型言語, d. 論理型言語
  - e. その他の言語, f. 処理系実現手法
  - g. その他
7. ソフトウェア工学
  - a. 要求定義技法, b. 設計技法, c. プログラミング技法 (エディタ等), d. テスト技法 (デバッカ等), e. 支援環境, f. 開発・保守・運用, g. 品質・信頼性, h. 仕様作成・プログラム合成, i. その他
8. 自然言語処理
  - a. 解析および生成, b. 機械翻訳, c. 自然言語理解, d. 辞書・データ分析, e. テキスト処理, f. その他
9. 知識情報処理
  - a. 知識表現, b. 知識利用, c. 推論方式, d. 知識ベース, e. 問題解決, f. 知識プログラミング, g. エキスパートシステム, h. 知的インタフェース, i. 学習
  - j. その他
10. パターン処理
  - a. 文字認識, b. 音声, c. 図面処理
  - d. 画像処理, e. 画像データベース, f. 画像処理エキスパートシステム, g. ロボット, h. 画像理解, i. 画像計測, j. その他
11. デザインオートメーションおよびコンピュータグラフィクス
  - a. CAD, b. CAE, c. CAM, d. グラフィクス, e. シミュレーション, f. その他
12. オフィスオートメーション
13. 応用システムおよびその他
  - a. 情報システム, b. ニューメディア
  - c. 教育への応用, d. 芸術への応用, e. 産業への応用, f. 社会への応用, g. 情報処理教育, h. シミュレーション, i. その他

**申込料** 1 件につき 7,000 円です。ただし, 論文集原稿を提出する際に納入してください。なお, 講演申込を取消されても納入していただきます。

**申込方法** 添付の講演申込用紙 (1 件 1 枚) に必要事項を記入し, 宛先明記の原稿用紙送付用封筒を同封のうえ, **61 年 10 月 20 日 (月) までに (必着)**, 下記申込先へお送りください。登壇発表は原則として 1 人 1 件とします。ただし, やむを得ず 2 件以上になる場合には, 講演参加費は 1 件ずつごとに 7,000 円ずつを申しあげます (ただし, 論文集は 1 冊です)。なお, 連続発表希望の場合は, その旨を必ず明記してください。

**論文提出** 所定の原稿用紙を 12 月中旬に送付しますので, 昭和 62 年 1 月 26 日 (月) までにご提出ください。発表は日本語または英語で行うものとし, 論文は日本語または英語に限ります。ただし, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には, 原稿用紙を送付しませんのでご注意ください。なお, 大会発表の全論文を JICST の JOIS に入力することとなっております。所定の用紙に標題, 発表者名とアブストラクト (150 字以内) を記述して, 論文と一緒に提出していただきます。

**表彰** 優秀な論文を登壇発表した新進の会員 (学部卒業後 10 年未満またはこれと同等の者) には, 学術奨励賞を贈呈し, 次期大会時に表彰いたします。

**申込先** 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社) 情報処理学会 第 34 回全国大会係  
Tel. 03 (505) 0505





## 「1987 情報学シンポジウム」論文募集

科学における情報の流通円滑化と利用高度化のため、データ、知識、情報の基本問題と、それらの整備、応用に関する討議と研究交流をはかる場として1984年以来毎年行われている情報学シンポジウムを開催します。奮ってご応募ください。

**日 時** 1987年1月13日(火)～14日(水) 9:30～17:00

**場 所** 日本学術会議講堂(地下鉄千代田線乃木坂駅下車)

**内 容** データ・知識・情報の具体的課題を明らかにし、理論を体系化する。

1. データ知識整備: 記述, 表現, 評価, 識別, 蓄積など
2. データ知識流通: 標準化, 媒体変換, 分類など
3. 基礎理論: 管理可能性, 演算方式, 自己組織化, 類推, 連想, 発想モデリングなど
4. 応用: 専門研究, 開発用データ・知識統合システム構築法

**講演参加費** 10,000円

**講演申込方法** はがきに題目, プログラム編成に必要な補足説明, 氏名, 連絡先, 職名を記入。

**講演申込締切** 昭和61年10月18日(土)

**論文記入方法** オフセット原稿用紙B4判(記入枠A4)8枚以下に題目, 著者, 所属, 要旨を記載する。審査により不採用の場合は早急に通知する。

**論文締切** 昭和61年11月29日(土) 必着

**宛 先** (社)情報処理学会 シンポジウム係

〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505

## JIP 掲載論文の和文要旨について

このたび情報処理学会では、欧文誌 JIP の採録論文を国内の読者にとって近づきやすいものとするため、従来学会誌「情報処理」に掲載されてきた300字程度のアブストラクトに加えて、「情報処理学会論文誌」に下記の要領で詳細な要旨を掲載することにいたしましたので、お知らせいたします。

1. 刷り上がりは論文誌1ページ分とする。
2. なるべく図, 表等を活用して, 中心的なアイデアがよく伝わり, 読者に本論文を読んでもみたいという気持ちを起こさせるようなものとするのが望ましい。
3. この概要については, 掲載料等は徴収しない。ただし別刷は学会では作成しない。
4. 今後の投稿については, 掲載時に概要原稿を添付すること, また現在投稿中の論文については受理決定時に概要の作成を依頼する。
5. 国外の著者については英文で作成してもらい, 欧文誌編集委員会において和訳する。

## COMPSAC '87 日本開催と論文募集

標記国際会議を IEEE Computer Society と来年 10 月に東京で共催いたします。論文募集要綱がきまりましたので、お知らせいたします。早目にご準備ください。

### 記

**正式名称** The 11 th Annual International Computer Software & Applications Conference

**日 時** 1987 年 10 月 5 日(月), 6 日(火) : Tutorials  
7 日(水) ~ 9 日(金) : Conference

**会 場** 東京都港区 高輪プリンスホテル

**論文募集要綱** (Call for Papers は 10 月上旬にできます。必要な方は 70 円切手を同封のうえ請求のこと。)

- ・ 締 切 1987 年 2 月 1 日
- ・ 論文体裁 full paper 5 部, 1000~5000 語 (paper にアブストラクト 150 語を含む)
- ・ 主なテーマ Software Quality and Productivity  
Software Engineering Management  
Development and Maintenance Environment  
Emerging Technologies  
Expert/Knowledge Based Systems  
Applications of Software Engineering Technologies

## 第 17 回 画像工学コンファレンス

5 月号本欄でお知らせしたとおり、標記コンファレンスが以下の内容で開催されますので、多数参加されますようおすすめします。申込方法およびプログラムの詳細は本号末尾に掲載しておりますので、ご参照ください。なお、懇親会のほか、'86 国際画像機器展 (入場無料) が催されます。

**期 日** 昭和 61 年 12 月 2 日(火) 9 : 20 ~ 18 : 00  
3 日(水) 9 : 10 ~ 18 : 00 (懇親会 18 : 10 ~)  
4 日(木) 9 : 10 ~ 17 : 40

**会 場** ニッショーホール (東京・虎ノ門・消防会館 2 階)

**参 加 費** 加盟学会員 9,000 円, 学生 4,000 円, 非会員 10,000 円, 懇親会費 4,000 円

**申込締切** 11 月 10 日(月)

データベースシステム研究会編集

「1986 年巨大データベース国際会議 (VLDB) および  
エキスパートデータベースシステムシンポジウム  
論文紹介」 発行について

データベースシステムの新しい方向として、エキスパートシステムとの融合や高度応用、データベースと論理との関連等が注目されている。本書は 1986 年 8 月に京都で開催された巨大データベース国際会議および 4 月に米国のサウスカロライナ州チャールストン市で開催されたエキスパートデータベースシステムシンポジウムの全論文を要約して示したもので、データベースおよびエキスパートデータベースの最新の研究動向を知ることができる有用な資料である。

定価 4,000 円 会員価格 3,500 円 (送料 400 円)

.....き り と り.....

「1986 年巨大データベース国際会議およびエキスパートデータベース  
システムシンポジウム論文紹介」

購 読 申 込 書

昭和 61 年 月 日

申込者 氏名 \_\_\_\_\_ 会員 No. \_\_\_\_\_

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_

下記により購読を申し込みます。(該当するものを○印でかこむ)

会員, 賛助会員 3,500 円 非会員 4,000 円 (送料 400 円) 冊

○ 送 金 方 法

\_\_\_\_\_ 円を \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する  
送金方法を○でかこむ)。

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 図書係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945

富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

三井銀行本店 4298739

住友銀行東京公務部 10899

三和銀行虎ノ門東京公務部 21409

名義人 東京都港区芝公園 3-5-8 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No. )

請求書

通, 見積書

通, 納品書

通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は 1 枚 1 人として下さい (この用紙のコピーで可)。

## 「インタオペラブルネットワーク」シンポジウム開催について

日 時 昭和 61 年 11 月 4 日(火) 9:00~17:00  
 場 所 機械振興会館大ホール(地下 2 階)  
 参 加 費 正会員 6,000 円, 非会員 9,000 円, 学生会員 1,000 円  
 (論文集のみ 2,500 円, 送料 300 円)  
 申込締切 昭和 61 年 10 月 20 日(申込書は前号にあります)

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

|                                       |                |
|---------------------------------------|----------------|
| 基調講演 (9:00~9:20)                      | 司会 河岡 司 (NTT)  |
| ・分散処理とインタオペラビリティ                      | 野口 正一 (東北大)    |
| 招待講演 1 (9:20~9:55)                    |                |
| ・OSI の技術動向とインタオペラビリティ                 | 田中 英彦 (東 大)    |
| 招待講演 2 (9:55~10:30)                   |                |
| ・電子計算機相互運用データベースシステム・プロジェクト           | 棟上 昭男 (電総研)    |
| 招待講演 3 (10:30~11:05)                  |                |
| ・OSI 推進の国際動向                          | 松下 温 (沖電気)     |
| ——休憩 (15分)——                          |                |
| セッション 1 ワークステーションと知的 OA (11:20~12:20) | 座長 白鳥 則郎 (東北大) |
| ・ワークステーション                            | 前川 守 (東 大)     |
| ・知的 OA                                | 村上 国男 (NTT)    |
| ——昼食 (12:20~13:15)——                  |                |
| セッション 2 新しいネットワーク要素技術 (13:15~14:45)   | 座長 浦野 義頼 (KDD) |
| ・マルチメディア通信                            | 河岡 司 (NTT)     |
| ・相互接続・LAN                             | 樫尾 次郎 (日 立)    |
| ・ネットワークセキュリティ                         | 川合 英俊 (IPA)    |
| セッション 3 ネットワークソフトウェア (14:45~15:45)    | 座長 渡辺 一男 (NTT) |
| ・プロトコルの形式記述と検証法                       | 白鳥 則郎 (東北大)    |
| ・通信ソフトの設計                             | 佐久間幹郎 (沖電気)    |
| ——休憩 (15分)——                          |                |
| セッション 4 高度情報通信サービス (16:00~17:00)      | 座長 大空 瞭 (富士通)  |
| ・テレマティーク統合サービス                        | 浦野 義頼 (KDD)    |
| ・VAN サービス                             | 安井 敏雄 (IBM)    |

## 「グラフィクスと CAD シンポジウム」開催について

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募いただき誠にありがとうございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催することになりましたので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 昭和 61 年 11 月 18 日(火)、19 日(水) 9:00~17:00

場 所 機械振興会館大ホール(地下 2 階)

協 賛(予定) 日本機械学会、精密工学会、計測自動制御学会、電子情報通信学会、日本建築学会  
日本グラフィックデザイナー協会、日本図学会、日本印刷学会、テレビジョン学会  
日本 ME 学会、日本ロボット学会

参 加 費 正会員 10,000 円、非会員 15,000 円、学生会員 1,500 円  
(協賛学協会員は会員に準ずる。論文集のみ 3,500 円、送料 400 円)

申込締切 昭和 61 年 11 月 4 日(火)(定員 150 名になり次第締切らせていただきます。)

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

#### 第 1 日 (11 月 18 日(火))

開 会 (9:00~9:15)

・キーノート

司会 出澤 正徳(理 研)

川合 慧(東 大)

セッション 1 アルゴリズム (9:15~10:45)

座長 中嶋 正之(東工大)

・円錐スプラインの表現法と高速描線法

斉藤 隆文(東 大)

・曲面形状の制御点最適化アルゴリズム

佐藤 誠, 三稿 健司(東工大)

・計算誤差による暴走の心配の無いソリッドモデラの提案

杉原 厚吉, 伊理 正夫(東 大)

——休 憩 (10:45~11:00)——

セッション 2 画像生成 (11:00~12:30)

座長 藤村 是明(電総研)

・オブジェクト指向の概念に基づいた光線追跡法

石野 裕久, 内木 哲也, 所 真理雄(慶 大)

・ポリゴン・エンジン

山口富士夫(早 大), 立道 孝臣, 海老沢良二(セイコー電子工業)

・3次元フレームバッファによる画像生成について

青木 富雄\*, 新保賀津雄\*\*, 千葉 則茂\*\*\*, 斉藤 伸自\*

\*(東北大), \*\*(グラフィカ), \*\*\* (仙台電波高専)

——昼 食 (12:30~13:15)——

招待講演 1 (13:15~14:45)

司会 出澤 正徳(理 研)

・左心室の動画像表示と診断への応用

桑原 道義(京 大)

——休 憩 (14:45~15:00)——

セッション 3 アニメーション (15:00~17:00)

座長 守屋 慎次(電機大)

・AVENUE: 3-D アニメーションシステム

土井 章男, 青野 雅樹, 浦野 直樹, 宇野 栄(日本 IBM)

・キャラクタ・アニメーションのための指の曲面モデル

小松 功児(NHK)

・コンピュータ・アニメーション・システム

出川 誠(東 芝)

・濃度輪郭線を用いた階調画像の中割り法——輪郭線群の自動同定、自動内挿アルゴリズム——

中嶋 正之, 安居院 猛, 斉藤 稔(東工大)

#### 第 2 日 (11 月 19 日(水))

セッション 4 グラフィックシステム (9:00~10:30)

座長 井越 昌紀(機振協)

・PHIGS の階層図形管理システムの実現

寺田 光利, 今宮 淳美(山梨大)

・オブジェクト指向言語によるウィンドウ管理システムの実現

牧 喜代司, 今宮 淳美(山梨大)

- ・自由曲面を作業対象とするロボットシミュレータの開発

——曲面ロケータとロボット軌跡の決定——

島田 哲夫\*, 阪本 英男\*, 加藤 敏春\*, 岸本和一郎\*, 多田 幸生\*\*  
\*(兵庫工試), \*\*(神戸大)

——休 憩 (10:30~10:45)——

セッション 5 形状定義, 線図形処理 (10:45~12:15)

座長 近藤 隆志 (東 芝)

- ・コンピュータグラフィックスにおける山の形状定義について

三沢 雅一\*, 村岡 一信\*\*, 千葉 則茂\*\*\*, 斉藤 伸自\*  
\*(東北大), \*\*(仙台電専), \*\*\* (仙台電波高専)

- ・半自動図面入力プログラム

小田 泰充, 矢田 健一, 藤田 政志, 山川 修三 (NTT)

- ・手書き透視図の視点推定とその応用

近藤 邦雄\*, 木村 文彦\*\*, 田嶋 太郎\*  
\*(名 大), \*\*(東 大)

——昼 食 (12:15~13:15)——

招待講演 2 (13:15~14:45)

司会 川合 慧 (東 大)

- ・CAD/CAM と私——旧人類から新人類への繰り言——

服部 幸英 (日本鋼管)

——休 憩 (14:45~15:00)——

セッション 6 モデリング (15:00~17:00)

座長 福井 幸男 (製科研)

- ・拡張された丸め変形操作による自由曲面立体のモデル化

千代倉弘明 (リコー)

- ・双3次 Bezier 曲面を統一的に用いた滑らかなソリッドモデルについて

中野 貫二, 森田 啓義, 阪田省二郎, 藤元 克己 (豊橋技科大)

- ・ローカル処理方式による高速三次元幾何モデリングの一手法

山口 幸男, 城戸 勝弘, 神田 正利 (日 立)

- ・プロダクトモデリングのための機械形状モデルの生成と処理

鈴木 宏正, 木村 文彦, 寺沢 幹雄, 原田 毅士, 安藤 英俊 (東 大)

## 併設グラフィックス・ビデオショウ

18日(火), 19日(水)の両日, シンポジウムと並行し, 機械振興会館地下3階研修1号室において, コンピュータグラフィックスの技法を応用して製作された最新のビデオの上映を行います. なお, ビデオの内容については次号にてお知らせいたします.

## 論文誌へのカラー頁導入についてのお知らせ

「カラー写真を含む論文の投稿を可能にしてほしい」との要望を多くの会員よりいただいておりますが, 論文誌編集委員会で検討を進めた結果, 1カラー頁当り, 4通常頁分の別刷代をお支払いいただくことにより実現可能である, との結論に達しました. ただちに, この条件のもとに実行に移すことにいたしますので, 会員の皆さまの活発な投稿をお願いいたします.

## 「グラフィクスと CAD」シンポジウム

### 参 加 申 込 書

昭和 61 年 月 日

申込者 氏名 \_\_\_\_\_ 会員 No. \_\_\_\_\_

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参 加 費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

○論文集のみ (3,500 円, 送料 400 円) 冊

○送 金 方 法

\_\_\_\_\_ 円を \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945

富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

三井銀行本店 4298739

住友銀行東京公務部 10899

三和銀行虎ノ門東京公務部 21409

名義人 東京都港区芝公園 3-5-8 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

請求書  
請求先

通, 見積書

通, 納品書

(No. )

通

注) 申込書は 1 枚 1 人として下さい (この用紙のコピーで可)。

## 本 会 協 賛 等 の 行 事 案 内\*

第 29 回 標準化全国大会

昭和 61 年 10 月 14 日 (火) ~ 16 日 (木)

日経大ホール, 農協ビル (東京)

第 5 回 JAGDA コンピュータ 1986 「CG の視線—メディア新人類」

昭和 61 年 11 月 6 日 (木)

ABC 会館ホール (東京)

システムと制御チュートリアル講座「制御工学へのガイド・ライン—制御のための数学を鳥瞰する」

昭和 61 年 11 月 14 日・21 日・28 日, 12 月 5 日・12 日

大阪科学技術センター

昭和 62 年 1 月 13 日・14 日・20 日・21 日・27 日

ダイヤモンド社ホール (東京)

講習会「シーケンス制御システムにおける新しい流れ」

昭和 61 年 11 月 26 日 (水) ~ 27 日 (木)

東京大学工学部 11 号館

\* 詳細は本号会議案内欄参照



## 「利用者指向の情報システム」シンポジウム開催について

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募頂き誠にありがとうございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催いたします。多数の方々のご参加をお願いします。

日 時 昭和 61 年 12 月 5 日(金) 11:00~17:00 (招待講演, 論文発表)

18:30~20:30 (パネル討論)

12 月 6 日(土) 9:00~13:30 (論文発表)

なお 12 月 5 日合宿形式により時間の許す限り懇談・討論を行いたいと思いますので、ご希望の方は参加費のほか、宿泊費を添えてお申込みください。

場 所 (本会場)

図書館情報大学 (茨城県筑波郡谷田部町春日 1-2) Tel. 0298 (52) 0511  
(パネル討論会及び宿舎)

筑波研修センタ (茨城県新治郡桜村妻木 645) Tel. 0298 (51) 5152

図書館情報大学への交通機関

常盤線土浦駅より関東鉄道バス筑波大中央行 (乗車口 2 番) にて約 30 分, 図書館情報大学前下車  
(発車時刻例 9:20, 9:50, 10:35, 10:50), タクシーにて 15 分 (約 2,500 円)

参 加 費 会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円

(論文集のみ 3,000 円 送料 300 円)

宿 泊 費 6,000 円 (夕・朝食込み)

申込締切 昭和 61 年 11 月 11 日(火) (下記定員になり次第締切らせていただきます)

宿舎定員 70 名 会場定員 100 名

共催学会 人間工学会, 日本経営工学会, 応用統計学会, 日本 OR 学会, 認知科学会  
(予定) 情報科学技術協会, 日本ソフトウェア科学会

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第 1 日 (12 月 5 日) 於 図書館情報大学

開会の辞 (11:00~11:30)

浦 昭二 (慶 大)

招待講演 (11:30~12:30)

・一利用者からみた現在の情報システム

開原 成允 (東 大)

—— 昼 食 (60 分) ——

セッション 1 (13:30~15:00)

座長 魚住 董 (富士通)

・画像診断レポートシステムの試作

伊藤佐智子 (北 大)

・視覚障害者用読書支援システムにおけるマン・マシンインタフェース

森川 治 (製科研)

・エンド・ユーザ・システムの推進・拡大について

佐藤 良順, 中川 章, 近藤 浩介 (武田薬品)

—— 休 憩 (30 分) ——

セッション 2 (15:30~17:00)

座長 平野 哲雄 (三井造船)

・情報システムと小型・大容量記憶媒体

藤原 譲 (筑波大)

・多重ウィンドウ環境とマンマシンインタフェースの効率化

村田 英俊, 平井 芳彦, 大野美代子 (三井造船)

- ・マルチメディアを活用した意思決定支援システム DEMANDS の開発

松井 正一, 篠原 靖志, 大屋 隆生, 高橋 誠 (電中研)

——移動・夕食——

#### パネル討論 (18:30~20:30) 於 筑波研修センター

司会 松谷 泰行 (日鐵コンピュータシステム)

- ・利用者・開発者それぞれの世界と役割

パネリスト 水野 睦郎 (水野調剤薬局), 山本 毅雄 (情報大)

金井 一成 (日電), 橋本 茂司 (東レシステムセンタ)

#### 第2日 (12月6日) 於 図書館情報大学

##### セッション 3 (9:00~11:00)

座長 上野 滋 (統合ソフトウェア研究所)

- ・大型計算機センター群の共通利用番号制の運用と実現方式について

金澤 正憲 (京大), 宮崎 正俊 (東北大), 大中幸三郎 (阪大)

小澤 宏 (東大), 安達 淳 (学術情報センター)

林 恒俊 (北大), 景川 耕宇 (九大), 浦部 達夫 (名大)

- ・図書館トータルシステム LIAISON

石塚 英弘, 石川 徹也 (情報大)

- ・オフィス間通信指向電子メールシステム POSTELE の開発

三木 彬生, 後藤 浩一, 松原 広 (国鉄)

- ・ホンダ技研工業における CAD/CAM 事例と今後の課題

三枝 行雄 (ホンダエンジニアリング)

——休憩 (30分)——

##### セッション 4 (11:30~13:30)

座長 岩丸 良明 (三井銀行)

- ・オブジェクト指向の概念に基づくシステム開発支援環境について

前田 和昭 (慶大)

- ・応用ソフト開発支援システム「PRODUCE」とその効果

新田 俊晴, 今村 和美, 中島 寛美 (三菱), 飯田 芳明 (シーエーエル)

- ・情報システムモデル

坂内 広蔵 (電中研)

- ・情報システムとその研究課題

松谷 泰行 (日鐵コンピュータシステム)

「利用者指向の情報システム」シンポジウム

参加申込書

昭和 61 年 月 日

申込者 氏名 \_\_\_\_\_ 会員 No. \_\_\_\_\_

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

○宿泊費 6,000 円

○論文集のみ (3,000 円, 送料 300 円) 冊

○送金方法

\_\_\_\_\_円を\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945

富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

三井銀行本店 4298739

住友銀行東京公務部 10899

三和銀行虎ノ門東京公務部 21409

名義人 東京都港区芝公園 3-5-8 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

請求書  
請求先 \_\_\_\_\_

通, 見積書

通, 納品書

(No. \_\_\_\_\_)

通

注) 申込書は 1 枚 1 人として下さい (この用紙のコピーで可)。

## 支 部 だ よ り

### 関 西 支 部

#### 講 演 会

期 日 昭和 61 年 10 月 14 日(火) 13:30~15:00  
会 場 京都大学工学部情報工学科 第 1 講義室  
演 題 ヨーロッパのネットワーキングセンターについて——現状、研究活動とそのプロジェクトを中心に

Dr. Günter Müller (Director ENC, IBM ドイツ)

参 加 費 無 料

問 合 せ 先 関西支部 Tel. 06 (448) 6630

#### セミナー「知識ベースとエキスパートシステム」開催について(予告)

知識ベースを構成するための方法論、知識表現、知識獲得などの基本的問題を明らかにするとともに、知識処理システムとそのツールの実際を述べ、さらにそれらをベースにして、いくつかのエキスパートシステムの適用事例について解説します。多数ご参加くださるようお願いします。

期 日 昭和 61 年 11 月 7 日(金) 13:00~17:00  
8 日(土) 9:30~17:00

会 場 関西情報センター会議室(大阪市北区中之島 5-3-51 大阪国際貿易センタービル 4 階)

#### プログラム(予定)

|                                                      |                            |
|------------------------------------------------------|----------------------------|
| 因果構造知識ベースを用いた意思決定支援システム                              | 岩井 壮介(京大)                  |
| 知識システム方法論                                            | 小林 重信(東工大)                 |
| エキスパートシステムにおける知識獲得                                   | 溝口理一郎(阪大)                  |
| PSI マシンとその上の Tool 等(未定)                              | 進藤 静一(三菱電機)                |
| エキスパートシステム構築支援 Tool とその応用                            | 大塚 雄吉(東洋情報システム)            |
| 人工知能的アプローチによる列車運転計画の作成                               | 福森 孝司(近鉄)                  |
| 医学医療分野の知識ベースシステム                                     | 小山 照夫(浜松医大)                |
| CSRL (Conceptual Structures Representation Language) |                            |
| ——エキスパートシステム構築の新しい開発手法とその応用事例                        |                            |
|                                                      | 尾山 信一(富士ゼロックス)、池谷 裕之(三菱商事) |

問 合 せ 先 関西支部 Tel. 06 (448) 6630

## 九 州 支 部

### 支 部 大 会 案 内

——電気関係学会九州支部第 39 回 連合大会——

期 日 昭和 61 年 9 月 29 日(月), 30 日(火)  
会 場 福岡大学 (福岡市城南区七隈 8-19-1)  
問 合 せ 先 九州大学工学部電気工学教室内 電気関係学会九州支部連合会  
Tel. 092 (641) 1101 (内線 5300)

### 講習会の開催について

——計算機技術の動向／教育・研究・開発——

標記講習会を下記により開催いたします。多数の方々のご参加をお願いします。プログラムおよび申込方法は前号本欄を参照ください。

期 日 昭和 61 年 10 月 18 日(土) 9:00~17:30  
会 場 九州大学工学部大講義室 (地下鉄「箱崎九大前」より徒歩 5 分)  
参 加 費 情報処理学会会員 4,000 円 情報処理学会会員の大学院生 1,000 円  
一 般 6,000 円 大学院生 2,000 円  
大学生, 高校生 1,000 円  
問 合 せ 先 九州大学中央計数施設内 情報処理学会九州支部 Tel. 092 (641) 1101  
(内線 5985 (仲田))

## 中 部 支 部

### 講 演 会 (1)

期 日 昭和 61 年 9 月 30 日(火) 13:30~16:00  
会 場 NTT 三の丸ビル南館 B 1 会議室 (名古屋市中区三の丸 1-9-1)  
演 題 パソコン通信の動向について 稲生 喜敏 (NTT)  
参 加 費 無料 (参加資格は問いません)  
問 合 せ 先 NTT 東海データ通信事業部営業部 川村 Tel. 052 (291) 3455

### 講 演 会 (2)

期 日 昭和 61 年 10 月 20 日(月) 15:00~17:00  
会 場 豊橋技術科学大学 C 棟 3 階 312 号室 (豊橋市天伯町雲雀が丘 1-1)  
演 題 学習・記憶の神経メカニズム 榊原 学 (名 大)  
参 加 費 無料 (参加資格は問いません)  
問 合 せ 先 豊橋技術科学大学情報工学系 阿部 健一  
Tel. 0532 (47) 0111 (内線 521)

## 講演会 (3)

期 日 昭和 61 年 12 月 11 日 (木) 14:00~16:00  
会 場 富山大学工学部大講義室 (富山市五福 3190)  
演 題 神経回路と情報処理—ネオコグニトロンとその発展—  
福島 邦彦 (NHK 技研)  
参 加 費 無料 (参加資格は問いません)  
問 合 せ 先 富山大学工学部電子工学科 吉田順作, 米田政明 Tel. 0764 (41) 1271

## 支部大会案内

——昭和 61 年電気関係学会東海支部連合大会——

期 日 昭和 61 年 10 月 7 日 (火), 8 日 (水)  
会 場 三重大学 (津市上浜町 1515)  
特 別 講 演 人間と動物の知恵くらべ (7 日 15:00~17:00)  
中村 幸昭 (鳥羽水族館)

### シンポジウム (依頼)

- |                          |                  |
|--------------------------|------------------|
| • 光磁気材料・物性及び光磁気記録 (6 件)  | 座長 増田 守男 (三 重 大) |
| • 生理現象の計測・処理の基礎的問題 (5 件) | 座長 宮崎 保光 (豊 技 大) |
| • 固体絶縁材料の最近の動向 (6 件)     | 座長 沢 五郎 (三 重 大)  |
| • 実用化せまる新発電方式 (5 件)      | 座長 茶畑 仁司 (中部電力)  |
| • プログラミング言語と環境 (6 件)     | 座長 吉田 雄二 (名 大)   |

参 加 費 大会当日会場にて受付けます。なお, 論文集購入者は参加費不要。  
正会員 500 円 非会員 800 円 学生無料  
懇 親 会 7 日 17:30~ 三重大学 生協第 2 食堂 会費 3,000 円 (学生 1,500 円)  
参加希望者は当日総合受付にてお申し込みください。  
問 合 せ 先 NTT 東海総支社技術企画部内 電気関係学会東海支部連合大会  
実行委員会 Tel. 052 (291) 2466

## 北 海 道 支 部

### 支部大会案内

——昭和 61 年度電気関係学会北海道支部連合大会——

期 日 昭和 61 年 10 月 4 日 (土), 5 日 (日)  
会 場 北海道大学 (札幌市北区 13 条西 8 丁目)  
問 合 せ 先 北海道大学工学部電気工学科事務室内 電気関係学会北海道支部連合大会  
実行委員会 Tel. 011 (716) 2111 (内線 6514)

## 欧文誌の原稿募集について

本学会欧文誌「Journal of Information Processing (JIP)」に論文をお寄せください。詳細な投稿規定は JIP 各巻第 1 号に掲載されていますからご参照ください。なお以下にその要約を示します。

### 欧文誌の性格、掲載論文種別

JIP は英文による学術雑誌である。掲載論文等は (1)原著論文, (2)ショートノート, (3)学会出版物のアブストラクト, (4)その他, とする。(1)と(2)を募集する。

### A. 投稿方法

- (1) 原稿は 4 部提出する。原著論文は刷り上がり 8 ページ以内を一応の目安とする。ショートノートは 2 ページ以内に限る。
- (2) 図面は原則として原本を提出する。
- (3) 著者紹介 (英文) および写真を添付すること。
- (4) アブストラクトは 3 種必要である。すなわち
  - a. 論文冒頭に掲げる英文アブストラクト (原著論文では 200 語以内, ショートノートでは 50 語以内)。
  - b. 前項の和訳。「情報処理」に掲載される。
  - c. 刷り上がり 1 ページ (表題, 著者名などを含めて) の和文要約。図, 表等を含んでよい。和文論文誌に掲載される。ただしショートノートにあっては刷り上がり 0.5 ページとする。それだけを見れば論文の性格はわかり, 読者に読んでみたいという気を起こさせるようなものであることが望ましい。なお著者が日本人でない場合には (b) を省略し, (c) は英語版を提出することにしてもよい。その場合は編集委員会で必要な翻訳をおこなう。
- (5) 査読割当ての便宜のため, 所定の質問表に回答を記入して添付すること。
- (6) 著者の所属, 郵便送付先を明示した書状を添えること。日本語でも可。

### B. 原稿の形式

(1) A判用紙 (21 cm×30 cm) の片面にダブルスペースでタイプ打ちを原則とする。用紙寸法は 8.5"×11" (レターサイズ) でもよい。たとえば 1 行 65 文字, 1 ページ 28 行とし, 上下 3 cm (強) の余白を残し, パラグラフの先頭を 5 字分あける。ただし印字品質が十分よくて読み違いの恐れがなく, 査読者が書き込みをするためのスペースが十分あり, かつ分量の計算が容易にできるようなものであれば, これ以外の形式 (たとえばレーザービームプリンタの出力) であっても差し支えない。刷り上がり 1 ページは, 通常のテキストでは 1,000 語程度であるが, 図等があればその分のスペースを考慮すること。

(2) 前節 A の (4) に記載のとおりのアブストラクトを含めること。

(3) 表題, 著者名, および所属は別紙とする。共著の場合には, 著者と所属の間の対応を明示すること。

(4) 引用文献リストは「JIP」形式による。くわしくは英文投稿規定または最近の JIP を参照のこと。

(5) 図のキャプションをまとめて別紙に示すこと。

(6) その他英文原稿作成の常識にしたがうこと。

### C. 図面の形式

(1) 図は学会ではトレースができないので、鮮明で汚れがなく、コントラストのよいものを提出する。

(2) できればA 4 判の用紙等を用いる。レターサイズでもよい。

(3) グラフは座標軸のみとするか、主だった格子のみ示すこと。

(4) レタリングが小さくなりすぎないように注意する。

(5) 写真は光沢焼きとし、十分なコントラストと濃淡を持つ常識的な寸法のものとする  
こと。

(6) 図画原本には裏面に鉛筆で番号を振り、著者名を書いておくこと。

### D. 査 読

投稿原稿は査読される。採否の最終的判断は編集委員会でおこなうが、内容についての最終的責任は著者にある。

### E. そ の 他

(1) 投稿原稿は返却しない。

(2) 掲載論文等の著作権は学会に帰属する。

(3) 著者または著者の所属先に、別刷 100 部を下記価格で購入していただく。

| Pages  | 1      | 2      | 3      | 4      | 5      | 6      | 7      | 8      | 9      | 10     |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| Prices | ¥5,000 | 10,000 | 15,000 | 20,000 | 25,000 | 30,000 | 35,000 | 40,000 | 55,000 | 70,000 |



## 論文誌および欧文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」(月刊) および欧文誌 “Journal of Information Processing” (略称 JIP・季刊) は下記のとおり、有料頒布となっております。

新規に購読を希望される会員は下記の申込書(コピーにて可)にて、お申し込みください。  
郵便振替口座番号、取扱銀行、送金先等は本号 1071 ページにあります。

| 年間購読料 | 会 員     | 非 会 員                |
|-------|---------|----------------------|
| 論 文 誌 | 4,500 円 | 7,800 円              |
| 欧 文 誌 | 3,000 円 | 6,000 円 (海外 7,000 円) |

昭和 年 月 日

### 論文誌・欧文誌購読申込書

下記により購読を申し込みます。(該当欄を○で囲む) 会員 No. \_\_\_\_\_

1. 氏 名 \_\_\_\_\_ 会員 (正, 学生, 賛助)・非会員

連絡先 (〒 \_\_\_\_\_)

Tel. \_\_\_\_\_

送本先 (〒 \_\_\_\_\_)

(注) 会員には学会誌の送付先に送本いたしますので、送本先の記入は不要です。

2. 購読希望誌 (申込月の翌月以降の発行誌から送本します。送本希望欄は特に必要な場合のみ記入)

a. 情報処理学会論文誌 (\_\_\_\_\_ 巻 \_\_\_\_\_ 号から送本希望)

b. 欧文誌 “Journal of Information Processing” (\_\_\_\_\_ 巻 \_\_\_\_\_ 号から送本希望)

3. 送金の方法

¥ \_\_\_\_\_ 也をつぎによって送金いたします。(送金月日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

a. 現金書留    b. 郵便振替    c. 銀行振込 (\_\_\_\_\_ 銀行宛)

4. その他 (学会事務局への連絡事項)